

コスト削減・高品質

ビジネスフォーム印刷に最適!! 《環境配慮型システム》



▼IPCパネルコンピュータ
(オペレーション画面)



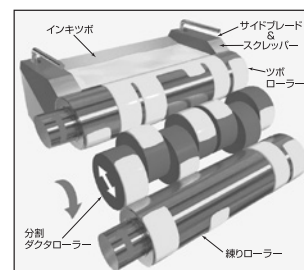
※刷版データとインキ量グラフを同時に表示。オペレーターが操作しやすくなっています。

IPC

〈インキプリセットコントロール〉

★メリット

- ◎分割ダクタローラーは正確なインキ量供給により、色調、立ち上がりが向上。
- ◎低速から高速への速度追従機能により、濃度安定・ヤレ削減を実現。
- ◎極小絵柄でも色品質が安定し、インキ乳化を抑制。
- ◎つぼネジ調整一切不要→時間短縮・生産効率UP。

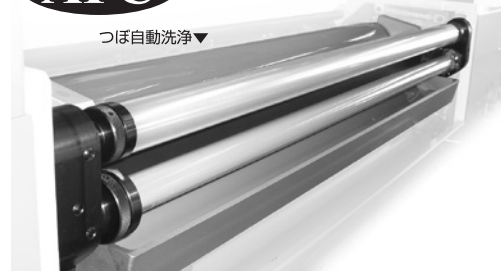


▲分割ダクタローラー機構
(呼び出しローラー)

AFC

〈オートファンテンクリーニング〉

つぼ自動洗浄▼



- インキつぼをカバーフィルムで覆い、自動フィルム巻取機能による洗浄システム。

★メリット

- ◎12色機の場合、インキつぼ&つぼローラーを同時に洗浄、約3分で洗浄完了。

IPC・AFC 国内外特許取得

※類似品にご注意下さい。

アイマー・プランニング株式会社
〒612-8207 京都市伏見区横大路三栖山城屋敷町108

TEL.075-603-3878 FAX.075-603-3877
URL <http://www.imer.jp> E-mail: sec@imer.jp



フォーム印刷

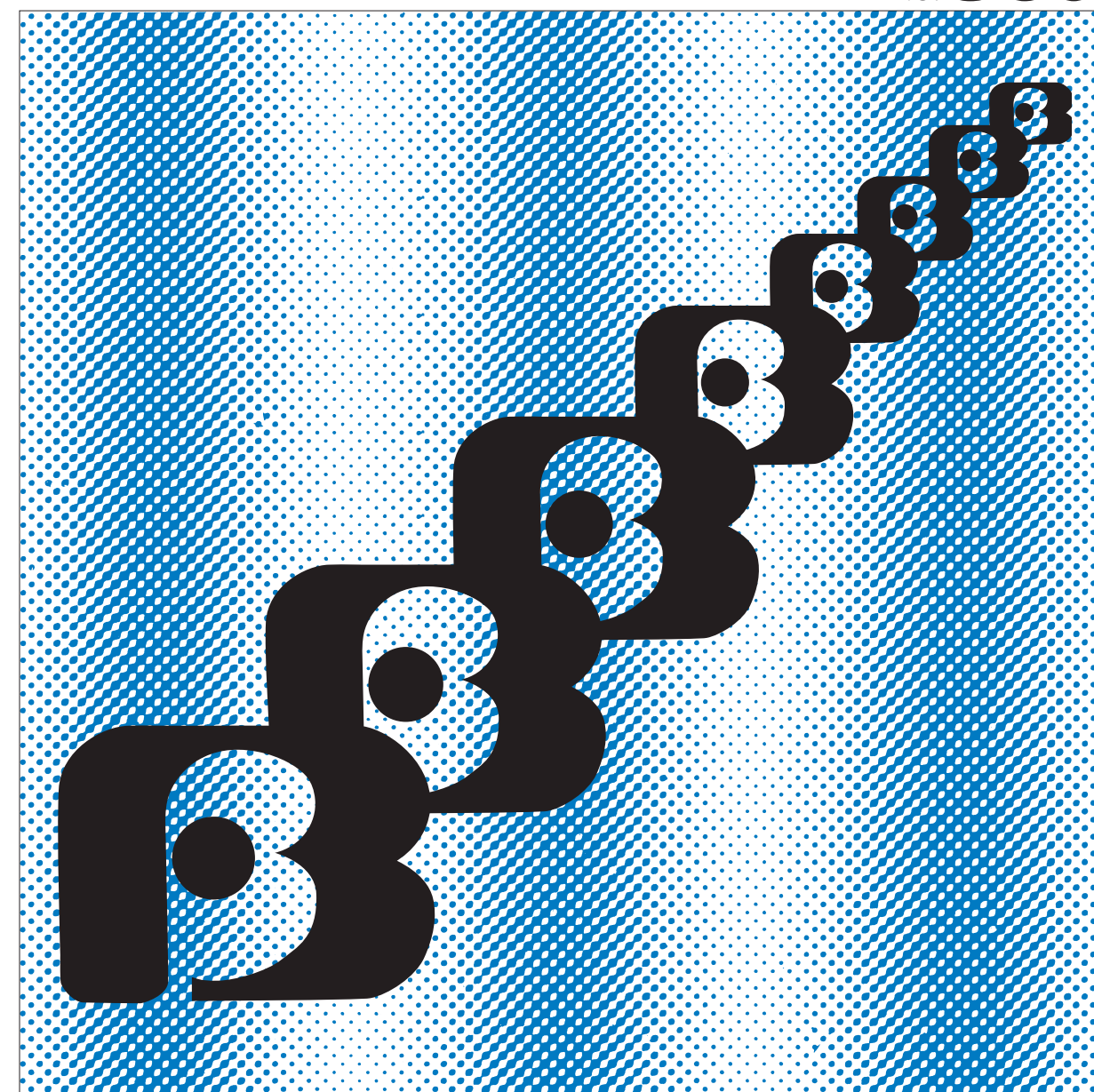


JAPAN BUSINESS FORMS ASSOCIATION

日本フォーム印刷工業連合会会報

発行 日本フォーム印刷工業連合会 〒104-0041 東京都中央区新富 1-16-8 日本印刷会館
TEL 03(3551)8615 FAX 03(3555)8466 ホームページ <http://www.jbfa.jp>

NO. **360**



2009.7

フルカラーデジタル印刷機

Xeikon 8000

スピード 品質 稼働率

品質に厳しい流通業界のDMを6日間で600万ページ印刷するために、
「この3つの基準で満足させてくれたのがXeikon8000でした。」

パラジェット社 セールス・マーケティングマネージャー
ペル ラルソン氏談



Parajett AB (パラジェット) 社
<http://www.parajett.se>

1904年スウェーデンに設立した総合印刷会社。オフセット印刷、デジタル印刷を含むIT技術を駆使して、顧客毎に最適なコミュニケーションのためのソリューションを提供。

販売代理店

サカタインクス株式会社 事業開発推進本部

大阪本社 — 550-0002 大阪市西区江戸堀1-23-37
TEL05-6447-5874 FAX06-6447-5839
東京本社 — 112-0004 東京文京区後楽1-4-25(日教版ビル)
TEL03-5689-6674 FAX03-5689-6633

ホームページアドレス <http://www.inx.co.jp>

B フォーム印刷

目次

日本フォーム印刷工業連合会会報 2009.7 No. 360

日本フォーム工連	平成21年度通常総会及び理事会を開催	2
日本フォーム工連	平成21年度事業計画	3
日本フォーム工連	平成21年度第1回理事会議事要録	5
日本フォーム工連	平成21年度第2回理事会議事要録	7
トピックス		10

業務委員会主催第1回講演会を開催

講師の坂本光司教授へのインタビュー

国際・技術委員会 合同セミナーを開催

業務委員会主催第2回講演会を開催

関西工業会協賛「技術セミナー」を開催

工業会だより		15
--------	--	----

関東フォーム印刷工業会	平成21年度総会
東北フォーム印刷工業会	平成21年度総会
中部フォーム印刷工業会	平成21年度総会
西中国フォーム印刷工業会	平成21年度総会
関西フォーム印刷工業会	平成21年度総会
九州フォーム印刷工業会	平成21年度総会

INFORMATION		18
-------------	--	----

業務委員会「感動を呼ぶサービスの真髄」林田正光氏講演会のご案内

国際委員会 北米印刷事情レポート (2009年4月～6月)

ビジネスフォーム印刷専用エッチ液

FCリスコート H-17 BFシリーズ

特徴
☆UV・油性減感インキに適切な乳化特性を付与し、インキの過乳化を制御
☆種々の材料をコーティングしたインクジェット用紙並びに感圧接着紙の使用時にも汚れにくい
☆耐水性の低い染料系インキ・減感インキご使用時でも水元ローラー絡みを極力抑制



富士薬品工業株式会社
FUJII CHEMICALS INDUSTRIAL CO.,LTD
HP URL <http://www.fcfuji.co.jp>

本社 〒176-0012 東京都練馬区豊玉北3-14-10
TEL 03-3557-6201 FAX 03-3557-6205
大阪営業所 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町22-1
TEL 06-6384-1351 FAX 06-6389-3221

フォーム印刷用インキのトップシェア

FDフォームTF NC

圧倒的な生産性を実現!!

安定した印刷品質 抜群の硬化スピード

高い乳化安定性とワイドな水幅

優れたUV硬化性

※話題の大豆油インキフォームFD TF SOY NCもご用意しました。

製品の詳しい情報はwww.toyoink.co.jp/
「製品・サービス」コーナーをご覧ください。



イメージ&インターフェース
東洋インキ

本社/東京都中央区京橋二丁目3-13 TEL 03 (3272) 5731
RC事業部/TEL 03 (3272) 8473

平成21年度通常総会並びに理事会を開催

日本フォーム印刷工業連合会(秋山正法会長)は6月9日、ホテル銀座ラフィナートで平成21年度通常総会を開催。

冒頭あいさつで秋山会長は「経営破綻したGMの実質国有化による再生など、様々な動きがあり、景気や株価ようやく回復の兆しが出てきたとも言われ、国内でも景気の底打ち感が取沙汰され、日経平均株価が年初来の高値を更新したり、宅急便が回復してきたという記事もある。しかし、我々の業界をとりまく環境は相変わらず厳しい状況が続いており、用紙価格の高止まりや、高度なセキュリティ体制の要望などが重圧になっている。私たちは厳しい市場だからこそ、情報交換をより深めて、新しい展望が開けるよう、互いに前進をしていこう」と述べた。

引き続き審議に移り、第1号議案「平成20年度事業報告並びに収支決算報告承認の件」、第2号議案「平成21年度事業計画案並びに収支予算案承認の件」、第3号議案「役員補充選任の件」を審議し、いずれも満場一致で承認した。

平成21年度業務計画の方針として、業界基盤の整備と体質強化を図り、広く印刷産業全般の総合的発展を図るため、委員会活動を中心として諸施策を実施していく。

業務委員会では、地区工業会との交流を深め、会員増強と活動の活発化を図るため、企業経営に関するセミナーを開催していく。

資材委員会では、用紙事情調査を継続実施するとともに、資材知識向上のための施設見学会やセミナー等を企画する。

国際委員会では、海外フォーム印刷事情についての情報を会員に提供し、海外視察ツアーを実施して、会員の研鑽と海外団体や企業との交流を図っていく。

市場調査委員会では、市場動向を調査分析し、調査報告書を通じて、会員へ事業方針策定資料として提供していく。平成21年度についてもアンケート調査を実施し、報告書の作成と報告会を実施していく。

また、総会後に開催した平成21年度第3回理事会に於いては、常任理事として中村伸治様を、また人事異動等により辞任される委員の補充と、委員会活動の活性化を図るための委員の増員について承認した。

■ 総会議案 第1号議案 平成20年度事業報告並びに収支決算報告承認の件
第2号議案 平成21年度事業計画案並びに収支予算案承認の件
第3号議案 役員補充選任の件

■ 理事会議案 第1号議案 常任理事指名の件
第2号議案 委員会委員委嘱の件



平成21年度事業計画

業界基盤の整備と体質強化を図り、広く印刷産業全般の総合的発展を図るため、平成21年度は以下の項目を重点的に推進します。

1. 日本印刷産業連合会事業活動へ積極的に参画する
 - ・主要構成員として、日本印刷産業連合会事業活動へ積極的に参画し、企業の社会的責任と印刷産業全般に亘る課題の解決に取り組み、理事会、会報、ホームページ等、広報活動を通して会員への周知と啓蒙を行います。
 - ・日本印刷産業連合会が主催するセミナー、報告会他各種行事への参加を積極的に進め、知識の共有と交流を図ります。
 - ・理事派遣：4名 常設委員会委員派遣：7名 分科会委員派遣：18名
2. 委員会活動による課題の討議と諸施策を実施する
 - (1) 業務委員会
 - ・地区工業会との交流を深め、会員増強、工業会活動活性化の具体策を検討し、実施します。
 - 企業経営に関する講演会・セミナーを最低年4回実施
 - ・会員増強キャンペーン施策として、広報活動の充実を図ります。
 - タイムリーなホームページ広報
 - プレス(報道機関)懇親会の計画
 - 会報の定期発行(4回/年)
 - ・業界の重要課題を各委員会と連携して抽出し、工連運営会議での迅速な方向付けを図ります。
 - (2) 資材委員会
 - ・用紙事情調査を継続実施し、理事会等を通じ資材動向を周知します。
 - ・会員会社社員の資材知識向上のため施設見学・セミナー等を企画検討します。
 - ・諸資材に関する課題検討を進めます。
 - 環境対応のインキ及び補助材等に関する勉強会やセミナーを開催
 - (3) 国際委員会
 - ・海外フォーム印刷事情を調査、分析し、理事会報告を通じ会員へ周知します。
 - P S D Aレポートの継続的な報告
 - 各種海外情報の発信
 - ・海外視察ツアーを実施し、会員の研鑽及び海外企業や他団体との交流を図ります。
 - 5月 ChinaPrint2009視察及び企業訪問
 - 9月 ラベルエキスポ2009及び欧州企業訪問
 - 9月 Print2009(米国)について情報発信
 - 平成22年2月 メーカーオープンハウス(欧州)について情報発信
 - 海外視察報告会の開催
 - (4) 市場調査委員会
 - ・市場動向を調査分析し、調査報告書等を通じ会員への事業指針を提示します。
 - 平成20年度実績を反映させた内容のアンケート調査を6月に実施
 - 調査結果の集計と分析を行ない、報告書を作成するとともに報告会を実施
 - 市場における業界共通課題抽出
 - (5) 技術委員会
 - ・技術面から見た業界の進む方向を協議し、必要テーマについてセミナー、見学会等を企画実施します。
 - 業態変革に関わる技術に対してタイムリーな時にタイムリーな内容のセミナーを実施
 - 各フォーム印刷工業会(関西・中部地区 等)での技術セミナーの開催

- ・エネルギー削減分野に着目し、新技術情報の共有化を進めます。
- ・日本印刷産業機械工業会、日本印刷技術協会(JAGAT)等、関連団体との交流を深め、技術的な方向性と、新しい技術課題について積極的な取り組みを行なう。

(6) 公正取引推進委員会

- ・独禁法遵守と啓蒙の為の諸施策を推進します。
 - 各委員会施策、成果物の適法性確認
- ・契約、積算基準の適正化を推進します。
 - 契約書雛形の周知
 - 経済調査会等、印刷価格調査に協力

(7) 環境委員会

- ・グリーンプリンティング工場認定、第三者認証制度の普及啓蒙と認定・認証取得のための環境作り、情報提供を通じ取得支援を行います。
 - 認証取得支援と情報の提供を推進
- ・印刷産業全体で進める地球温暖化対策・循環型社会形成の自主行動計画(CO₂削減活動、廃棄物削減活動)を推進します。
 - 日印産連自主行動計画への参加
 - CO₂削減、廃棄物削減の実態把握と情報共有

(8) 理事会

- ・業界及び工連運営に関わる重要事項を協議決定する理事会を定期開催し、会報及びホームページ等を通じ会員に周知します。
- ・魅力ある理事会にするために、毎回タイムリーなテーマを決め情報提供を行ないます。
- ・業界の発展、社会貢献の方向性を探る政治経済動向、社会的責任課題等についての理事研修会を実施します。

印刷技術の未来を担うパイオニア

MJP20V

UV対応フルカラーインクジェットプリンター



- ・解像度 600dpi × 600dpi
- ・印字速度 100m/min
- ・最大印字幅 541mm

MD-press1260

液体トナー方式電子写真プリンター



- ・解像度 1200dpi × 1200dpi
- ・印字速度 60m/min
- ・最大印字幅 487mm



〒275-0016 千葉県習志野市津田沼 1-13-5
TEL: 047-493-3854 FAX: 047-493-3071
URL: <http://www.miyakoshi.co.jp>

日本フォーム印刷工業連合会 平成21年度 第1回理事会議事要録

■平成20年4月9日(木) 午後1時30分～2時30分 日本印刷会館 2階201会議室

■出席者(21名)

秋山会長、小林副会長、小谷(正)常任理事、瀬戸(政)常任理事、室賀常任理事、福田常任理事、丹羽常任理事、玉田常任理事、岡田常任理事、川口常任理事、笹氣常任理事、松尾常任理事、中川常任理事、和田常任理事、佐々木常任理事、福武理事、石坂理事、坊野理事、西川監事、吉澤監事、山口(専務理事・事務局)

議 題 (1) 委員会報告

(2) 日本印刷産業連合会等関連報告

(3) 各フォーム印刷工業会からの報告

議 事 冒頭、秋山会長の開会挨拶があり議事に入った。

「秋山会長挨拶骨子」

本年は暖かかったり、寒かったりと天候の変化が激しく、桜は開花から満開までいつになく長かったようですが、そろそろ見ごろが終わりそうです。

一方、経済状況はまだ当分開花の見込みが立ちそうもありません。

日経新聞の産業景気予測として、主要30業種の4～6月の業界天気図が出ていましたが、 कारणとして2業種のネットサービスとアミューズメントが薄日ということですが、あとは曇り7業種、小雨または雨が21業種となっていました。

そのなかで紙・パルプは、在庫調整は進むが需要はなかなか回復しないとのことで、小雨となっていました。

フォーム工連でのアンケート調査でも、今年の2月の売上が昨年同月比20%以上落ち込んだ会員企業もあり、大変苦しい状況にあります。

まだまだ辛抱の時期が続くと思いますが、少しでも互いに役立つ情報を共有化して前進しましょう。

委員会報告

●資材委員会

4月度用紙事情説明メモ



●国際委員会

PSDAレポート3月号の概要報告があった。

ChinaPrint2009及び中国BF印刷産業視察ツアーは5月10日(日)～14日(木)に開催され、関東から6名、関西から1名、香港と大連から3名で、10名の参加で視察を行なう。

視察企業は中国造幣公司(北京)、伊諾尔印務有限公司(上海)、上海Innovation Centerを訪問する予定。

●業務委員会

3月度月次計算についての報告と、業務委員会主催第1回講演会の参加申込み開始の報告があった。会場の都合により定員は120名とし、参加費は2,000円で、講師の坂本先生の執筆された「日本でいちばん大切にしたい会社」を贈呈する。

●市場調査委員会

平成20年度と同様のアンケート調査を本年6月に実施を予定する。

関東フォーム印刷工業会の理事会開催時に行なっている定期アンケート調査について報告があった。3月度の調査結果は各社一段と売上が

厳しい状況にあることが把握される。

●技術委員会

3月5日開催した技術セミナー「インラインフィニッシングの動向」についての内容の報告を行なった。日印産連デジタルプレス研究会で米国視察の状況、米国Scheffer社フィニッシング装置の紹介、コダック高速インキジェットシステムを搭載したオフ輪の組合せ事例についての講演があった。

●環境委員会

環境施策を推進するために、全会員に対して環境への取り組みと選任の担当者についてのアンケート調査を実施した。

現在38社からの回答に留まっており回収率が低調の状況にあります。

日本印刷産業連合会等関連報告
事務局山口より、資料に基づき以下の報告があった。
・平成21年度事業計画概要並び基本方針について
・地球温暖化対策の自主行動計画 循環型社会形成の自主行動計画
・グリーンプリンティング認定資料
・古紙リサイクル適正ランクリスト規定改定資料
・印刷図書館維持会員募集について

各工業会報告
北海道工業会：2月度の用紙の出荷状況はロール紙で前年同期の70.5%、ノーカーボン紙で75.2%と非常に少なく、当然印刷の売上も非常に厳しい状態にあります。3月に入ってから給付金関連の仕事も入っており、例年の3月並みの仕事量にはなっておりますが、BF専門の企業が倒産する事態も発生しております。4月・5月とまだまだ先の見えない状況にあります、経営を圧迫している諸資材の高値が多少緩和されそうですので、期待を致したいと思います。

東北工業会：東北地区も売上について厳しい状況にあります、用紙価格はまだ高値が続いておりますが、製版諸資材は4月に入って多少値引きが期待できる状況も生まれております。

5月には約25名の参加予定で、東北工業会通常総会を秋田で開催する事を計画している。

中部工業会：トヨタを中心とした自動車産業界の生産調整が進み、例年の約半分程度の生産台数にしている。5月からは多少増産を計画しているが、例年に約60%の生産台数です。

中部圏ではトヨタ以外に工作機械メーカーが非常に多いが、この産業も不況の波に呑込まれている。今までユーザーに対して価格の値上げをお願いしてきたが、段ボール原紙の値引きを受けて、ここへ来てユーザーから製品値下げの要望を受けるようになって来た。更に、一部卸商様から現金でないと用紙購入が出来ないとの話も入っており、負のスパイラルは促進している状況にある。

関西工業会：関西地区の用紙の前年同期の払出状況は全国平均の86.9%より多少低く、85%に留まっている。3月19日に理事会を開催し、フォーム工連からの報告と関西工業会の状況について話し合った。京滋支部では3月24日に支部会を開催し新規加盟会員の歓迎会を行なった。

また4月23日には大阪支部会に大王製紙様を講師として招いて、プチ勉強会を実施する予定。

九州工業会：会員企業各社の動きはあまりないが、一般商業印刷を行なっている会社がオフ輪を全て廃棄するとか、九州はあまり大きな印刷会社はないが、50～60人をリストラするという話が飛び交っており、九州地区も厳しい状況にあります。

最後に小林副会長より閉会挨拶があった。

「小林副会長挨拶骨子」

今、各工業会からの報告をお聞きして、大変厳しい状況にあることを改めて実感致しました。

フォーム工連では今年度、会員に対して講演会やセミナーを多く企画する事としておりますので、活発化するために、是非、各地区で理事会や支部会を開催して、会員同士のコミュニケーションを図って頂きたいと思っております。

こういう時だからこそ、コミュニケーションの充実が必要ではないかと思っておりますので

宜しくお願い致します。

次回開催日

平成21年度第2回理事会
平成21年5月14日(木) 午後1時30分より
於 印刷会館2階203会議室
を確認して閉会となった。

日本フォーム印刷工業連合会 平成21年度 第2回理事会議事要録
■平成20年5月14日(木) 午後1時30分～3時10分 日本印刷会館 2階201会議室
■出席者(23名) 秋山会長、小林副会長、小谷副会長、瀬戸副会長、小谷(正)常任理事、瀬戸(政)常任理事、室賀常任理事、福田常任理事、玉田常任理事、岡田常任理事、川口常任理事、笹氣常任理事、松尾常任理事、中川常任理事、和田常任理事、佐々木常任理事、福武理事、石坂理事、坊野理事、清水理事、西川監事、吉澤監事、山口(専務理事事務局)

議 題 (1) 社団法人「日本プロモーション・マーケティング協会」の紹介
(2) 平成21年度通常総会について
(3) 委員会報告
(4) 日本印刷産業連合会等関連報告
(5) 各フォーム印刷工業会からの報告

議 事 冒頭、秋山会長の開会挨拶があり議事に入った。

「秋山会長挨拶骨子」

民主党の小沢党首が辞任するということで政局のゆくえは、ますます不透明になってくると思っています。

日本経済も厳しい決算発表が続くなかで、今年度の見通しについても各企業でかなりのバラつきがあり、先行きはまったく楽観できそうもありません。

我々としても一步一步着実に前進することを心掛けてゆかねばならないと思っています。

今、各社から9名の方々に参加いただき中国視察に行かれており、9月にはヨーロッパ視察も予定しておりますので、世界の業界動向等、情報収集のためにも積極的に参加いただきたいと思います。



本日は少し視点を変えて、マーケティング活動で、ビジネスの間口を広げ、専門性の奥行きを深める活動を行なっております日本PM協会について、坂井田専務理事からご紹介をさせて頂きます。

社団法人「日本プロモーション・マーケティング協会」の紹介

同協議会の専務理事 坂井田 稲之氏から下記の内容の紹介を頂く。

日本のSP(セールスプロモーション・販売促進)市場は巨大で、2008年度はSPツール作成費(セールスプロモーション・販売促進に関わる印刷物)を含めると、5兆9,532億円の市場になる。

しかし、質的变化が求められ「きれいで読み

やすいDMに仕上ればOK」の時代から、「DMにより来店数はどうだったか？ 売上げ目標は達成したか？」と成果を問われる時代になった。2005年から日本POP広告協会としてプロモーション・ marketer 認定資格制度を開始し、印刷企業を中心に多くの人材教育を進めているが、新たに日本プロモーション・マーケティング協会の40周年事業として、新たな業界機能を確立するための「人材育成」を柱とし、下記の事業を展開する。

- ①日本プロモーション・マーケティング白書の作成
- ②日本プロモーション・マーケティング協会の独自の調査・研究の推進
- ③日本プロモーション・マーケティング学会の設置
- ④「日本プロモーション・マーケティング大学」の開講

この事業の推進により、よりビジネスの間口を広げ、専門性の奥行きを深める活動を実施して行く。

平成 21 年度通常総会について
6月9日に開催されます平成21年度通常総会に向けて、「平成21年度通常総会開催案内(案)」及び「平成20年度事業報告・決算報告(案)」についての確認を頂く。

委員会報告

●国際委員会

PSDAレポート4月号の概要報告があった。
ChinaPrint2009及び中国BF印刷産業視察ツアーは14日(木)の帰国予定で、関東から6名、香港と大連から3名が参加され、中国造幣公司(北京)、伊諾尔印務有限公司(上海)、上海Innovation Centerを訪問。

技術委員会との合同で6月19日(金)午後に視察報告会を実施する。

LABEL EXPO2009視察ツアーの募集を開始。

期 間：8月20日～27日(8日間)
費 用：590,000円
募集人員：15名 募集締切：7月31日(金)
訪問先 オランダ(アムステルダム・ハーグ他)
ベルギー(アントワープ・ブリュッセル他)

●業務委員会

4月度月次計算についての報告と、業務委員会主催第1回講演会への参加申込みが100名を越えた事を報告した。

続いて6月25日に開催する第2回講演会「どうしたら良い会社になるか！」について募集開始の報告があった。会場の都合により定員は50名としたが、参加者の増員が可能な部屋を用意する。

●市場調査委員会

平成20年度と同様のアンケート調査を実施するが、より解りやすく改善するために、一部アンケート内容を変更するので、変更部分についての説明を行なう。

本年度のアンケートは6月中旬に全会員対象に実施する。

●技術委員会

3月5日開催した技術セミナー「インラインフィニッシングの動向」で実施した受講者アンケートについて報告を行なった。

6月19日(金)午後2時から開催する国際委員会との合同セミナー企画を紹介する。今回は欧米に於けるデジタルプリント事情を中心に、サカタインクス(株)とインフォプリント・ソリューションズ・ジャパン(株)からご講演を頂く予定。

●環境委員会

環境施策を推進するために、全会員に対して環境への取り組みと選任の担当者についてのアンケート調査を実施し、40社からの回答内容について報告。

回答率が24%に留まっているので、再度、委員会を開催して会員の環境への取り組み姿勢の強化について検討する予定。

日本印刷産業連合会等関連報告
事務局山口より、資料に基づき以下の報告があった。
・日印産連表彰の推薦に関する件
・デジタル印刷の新時代ビジネスモデルに関する調査研究報告会
・クロスメディア社会におけるコンプライアンスとDTP環境セミナー
・印刷・製版・製本・印刷物加工業動態調査結果(市場調査委員会)

各工業会報告

関東印刷工業会：関東会員に呼びかけて拡大理事会を開催し、経済産業省の出沼課長補佐からご講演を頂いた。支部活動の活性化のために努力をして、会員へ活動への参加を呼びかけている。

6月25日の関東工業会の理事会の前に、古田土公認会計事務所の古田土先生による講演会を実施する。

北海道印刷工業会：北海道全体の上質紙の出荷量は前年同月比93.3%、ノーカーボンは84.7%と低調な状況が続いている。北海道印刷工業会は5月29日に平成21年度定期総会と懇親会を予定している。

東北印刷工業会：東北では用紙価格についてはあまり変動はないが、製版資材は約10%弱価格が下がってきている。用紙価格値上げ時に、原材料価格に占める石油価格の状況があまり明確でないので、石油価格が下がっても用紙が下がらない理由を、お客さまになかなか説明出来ないでいる。

東北印刷工業会では5月22日に21～22名の参加予定で、秋田の乳頭温泉において平成21年度定期総会を実施し、翌日ゴルフ親睦会を行なう。

中部印刷工業会：5月19日の理事会に引続いて、5月22日に中部印刷工業会は定期総会を実施。この定期総会に併せて特別会員も参加され、元近鉄バッファローズ及び中日ドラゴンズでピッチャーとして活躍された佐野様による講演会と

懇親会を実施する。
関西印刷工業会：関西地区の上質紙の出荷量は前年同月比84.9%と落ち込んでいる状況が継続している。関西印刷工業会では4月16日に理事会を開催し、大阪支部では4月23日に大王製紙様を講師として招いてプチ勉強会を実施するとともに、支部会員各社のエコ施策について話し合いを行なった。

関西印刷工業会の平成21年度定期総会は5月20日の開催予定で懇親会も実施する。

7月4日(土)には、ゴルフ親睦会も予定している。

九州印刷工業会：九州印刷工業会では、5月22日に平成21年度定期総会を実施する。

九州地区では仕事が首都圏の中央に集まる傾向が見られ、仕事自体が少なくなっている。この少ない状況の中にあって業務を一括して請け負う人材派遣会社があり、非常に安い価格で仕事を受注している。我々業界の周辺にはまだまだ仕事はあるので、今日の講演のマーケティング等の勉強をして仕事を取っていく活動を致したい。

最後に小谷副会長より閉会挨拶があった。
「小谷副会長挨拶骨子」

冒頭、秋山会長が話された様に、政治が混迷し、経済が危機的状況にあるのに加えて、新型インフルエンザで健康衛生上の問題も加わって、経済に与える状況が心配になる。

日本フォーム工連として、勉強会や講演会、さらに海外視察と、事務局を中心として各委員会が活発な活動を行なっている。

このような経済状況の時こそ、会員それぞれが勉強し、切磋琢磨して業界全体のレベルアップを目指すべき時であると思っている。

次回開催日

平成21年度通常総会 第3回理事会
平成21年6月9日(火) 午後4時より
於：ホテル銀座ラフィナート7階(汐風)
を確認して閉会となった。

業務委員会主催 第1回講演会を開催

日本フォーム工連業務委員会(小谷正嘉委員長)は5月21日、ホテル銀座ラフィナートで「第1回講演会」を開催し、全国から会員はじめ日印産連傘下の会員など約110人が出席し盛況を呈した。

30万部を超えるベストセラー「日本でいちばん大切にしたい会社」の著者で、法政大学大学院政策創造研究科教授の坂本光司氏が講演を行なった。

坂本氏はこれまで全国の6,000社以上の様々な種類の中小企業を訪問し、経営者や現場の社員と直接対面した経験から、企業経営の第一の目的は「業績を上げることではなく会社を継続することだ」と説いた。経営とは5人に対する使命と責任を果たすための活動、その5人とは第1番に「社員とその家族」、2番に「外注先・下請企業の社員とその家族」、3番に「顧客」、4番に「地域社会と地域住民」、そして最後に「株主・出資者」と説明された。

現在の日本の企業に求められている「心に響く

経営」の重要性を、50年前から障害者雇用を行い、知的障害を持った社員が7割を占めるチョーク製造会社、中国残留日本人孤児の方々に眼鏡をプレゼントし続けている北海道の眼鏡屋さん、などを紹介された。

最後に信念を貫いて松下電器を早期退職した元総括資材部長の行ないを通して熱い思いを語った。この講演内容の全文は、日本フォーム工連ホームページに掲載。



★インタビュー

「経営でいちばん大切なのは企業の存続」

対談のキーワード：社員と家族の幸せが企業の発展に
他がやならいことに特化すること

法政大学大学院 教授 坂本 光司氏

(さかもと・こうじ) 1947年静岡県生まれ。

70年に法政大学経営学部卒業後、浜松大学、静岡文化芸術大学等の教授を経て、08年から法政大学大学院政策創造研究科教授に就任し現在に至る。徹底した現場派で約6000社の企業などを訪問。実態調査研究の成果を企業経営者や行政等広く社会に還元している。著書にはベストセラー「日本でいちばん大切にしたい会社」(あさ出版)など多数。



坂本光司氏

——中小企業を中心に6000社以上を訪問されています

「私のモットーは、外に飛び出し、実際に中小企業の現場を見て研究し、そこで得られた成果を還

元することで日々努力されている中小企業の支援をしていくことです。時間が無い中で快く応対して下さる経営者との対話からは、自分自身が成長できるのを感じます。世のためになる経営に取り

組んでいる企業では、真に正しい経営、偽りのない経営がブレずに実践されており、感銘や刺激を受けます。経営で一番大切なのは、業績を上げ続けることではなく、会社を継続させていくことなのです」

——全国各地を自ら回られるのはなぜでしょう

「価値ある情報は人の発言から得られるものです。特に自分が欲している情報ほどその確率が高い。せっかくの出会いのチャンスを、仕事に直接関係がない、利益につながらないからといって、自らそのチャンスをつんでしまうことこそ問題です。人と話をしてこそ、共鳴したり、刺激になったり、ひいては重要なビジネスヒントになったりするのは。私は、アポイントを取る際には、直接電話をするようにしています。なぜなら、電話の受け方一つで、その会社の社風が良く分かるからです」

——社内をオープンにするのを躊躇される方も多いと思うのですが

「これまで取材した会社を総合的にみると、技術を盗まれるからといって会社をクローズ体質にしてみたり、開発した技術について特許をすべて取得していこうとする会社は、順調に成長していません。むしろ、伸びている会社ほどオープンな会社が多いのです。自ら垣根をどんどん高くし閉鎖体質にして他と交わらないのでは、逆に外からも情報は入らず、長きにわたる発展はありません」

——開発した技術やビジネスモデルをまねされたくないという気持ちもある…

「他社ができないことを継続していけば、簡単に倒れることはありません。確かに、中小企業は低価格化やコストダウンを強く要求される状況にありますが、会社を継続していくためには、そこから視点を変え、大企業ができない、中小企業にしかできない『短納期、超小ロット、試作、開発』等の仕事に注力していくことこそが重要です。他がやらないもの、できないことに特化し、オンリーワン企業を目指すべきなのです」

——これまで心に残った企業は

「心に響いたサービスはこれまでに70くらいあります。なぜこの企業の製品が売れるのか。電話を

してみると、やはり仕事の始まりである電話の取り方がどこもいい。相手の心に響く電話対応が実践されています。そこが大企業であろうが、中小企業であろうが、ここになら仕事を出してもいい、いやむしろこちらから出したい、そういう気にさせるのです。そういう企業は、どこも社員を大切に第一に考えています。よく、株主や顧客が第一と言われますが、企業は社員とその家族をまず大切にしてこそモチベーションが高まり、良き商品、技術へとつながり、ひいては外注先の幸せ、顧客満足、地域社会への貢献、そして株主への還元と連鎖していくのです」

——人こそ企業が最も大切にすべきもので、発展へのキーワードだと…

「これまでに訪問した企業を見ると、リストラは会社をほろぼします。誰かの犠牲の上に会社や仕事は成り立たないのです。逆に、安易に人を採用しすぎているとも感じます。採用するのであれば、その人を定年まで面倒みていくという強い決意が必要なのです。上司のすべきことは、部下のモチベーション向上に徹すること。それに率先して取り組んでいる企業は、長期間業績が良いところがほとんどです。好況の時は業績が良いが、不況の時は業績が悪くなるという体質であれば、社会で真に認められてはいないのだと考えるべきでしょう。不況の時こそ、その会社の本質が見えます。会社は、社員とその家族の生活を守ることが第一の使命なのです。もしそれに反する展開をしているのであれば、それは企業への不信感や不買運動につながり、永年の繁栄は絶対にありません。ある社長は、社員をリストラせざるを得ない時は、自分がホームレスになる時だと話していました。そうしなくてもいいように、常に忍耐強く社員を成長させていくこと、価値ある仕事ができるように伸ばしていくことに徹底して取り組むべきなのです」

(聞き手・ラベル新聞社 鈴木)

このインタビューは、平成21年5月15日発行「ラベル新聞」記事を同社の許可を得て掲載。

国際・技術委員会 合同セミナーを開催

日本フォーム工連国際委員会(玉田健治委員長)、技術委員会(丹羽喜一委員長)は6月19日、日本印刷会館で合同セミナーを開催し、会場いっぱいの約80人が参加した。

技術テーマとして、サカタインクス(株)の池田芳仁氏からデジタル印刷による「MSPへの挑戦」と題して、竹本好孝氏からは9月にフォーム工連で企画している LABEL EXPO2009 視察時に企業訪問を予定している2社の企業紹介を行なった。

インフォプリント・ソリューションズ・ジャパン(株)の岩崎透氏からは「トランスプロモの実践」を中心に、同社が米国のベストウエスタン・ホテルで行ない、大きな成果をもたらした実証結果を含めて講演された。またChinaPrint2009ツアーで訪問した同社上海のPrinting Innovation Centerについても紹介した。

国際委員会からは、中国北京で5月12日から5日間開催されたChinaPrint2009への参加と、北京と上海で訪問した企業視察について、共同印刷(株)森下明氏、井上雅宏氏、小林クリエイト(株)大塚信二氏から報告があった。

今年のChinaPrintは2カ国から1,284社が出席し、総来場者数は約6万8千人におよび、世界不



合同セミナー会場

況の中での開催ではあるが、各社印刷機メーカー、プリンターメーカー、封入封緘機を含めた加工機メーカーからの展示があり、熱気に包まれた会場内であったと報告された。

企業視察をした上海伊諾尔印務有限公司は、従業員800名、業務内容はビジネスフォーム・証券印刷、封入封緘業務、ラベル印刷、IC実装(インレット製造を含む)、その他 不動産、物流までを手掛ける企業。特にIC関連の年間売上げは約2億元(約30億円)と、ビジネスフォーム・証券印刷の年間売上げに肉薄するまでに成長していることが注目された。

今回のChinaPrint2009視察ツアーは短期間ではあったが、世界で大きく躍進を続ける中国の印刷産業界を垣間見ることができた。



上・上海企業 下・上海Cライン



上・China Print 会場 下・China Print 視察団

業務委員会主催 第2回講演会を開催

日本フォーム工連業務委員会(小谷正嘉委員長)が6月25日に主催した講演会「どうしたら良い会社になるか」を講演して頂いた古田土満氏の取り組みを紹介する。

「元気創造コンサル日本一」を掲げる古田土公認会計士事務所(東京江戸川区、従業員120人)は「日本の中小企業を元気にする」を経営ビジョンに、社員の一体感の醸成を通じた顧客サービスの向上を目指している。

同社の朝の光景は一見すると異様にも見える。社員は登社すると120人全社員に握手、一人一人に大声であいさつを交わす。事務所のあちこちであいさつが飛び交い、事務所はあいさつの声で充満する。朝礼になるとまず『『ハイ』の十連発』。社員全員が体育会よろしく大声で発声練習をする。つづいて「本気のじゃんけん」。社員同士がじゃんけんを交わし、勝った者は両手を挙げて喜び、負けた者は本気で悔しがる。続いて「ハッピー体操」があり、両手にピースのサインを出しながら、社員が相対して笑顔で「ハッピー」と呼びかける。誕生日の社員には全社員が歌を歌って祝う。

古田土事務所のビジョンは「中小企業を元気にする」の1行である。そのためには社員全員が元気になる、その元気を顧客に分け与えなければならない。それが古田土所長のポリシーだ。

古田土所長は「社員は自転車の後輪、お客様は前輪、そして経営者は自転車を操縦する運転手」と表現する。大切なのは社員であり、社員を通じて元気になるお客様である。

利益を追求する経営者と、社員のビジョンは一致するのか。古田土所長は必ず一致すると話す。会社における利益とは「社員を守るためのコスト」であり「事業存続のためのコスト」である。同事務所の従業員として人生設計をし、より長く、楽しい職場で働きたいという社員の利益とも一致するのだ。社員の中には平日は元気なのに休日になると元気がなくなる人がいて、妻から「古田土事務



情熱を持って講演する古田土満氏

所に出社して元気をもらいなさい」と叱咤される人もいるという。

経営者としても利益とは「社員を守るためのコスト」である以上、利益は現金でなければいけない。不動産投資などもせず、キャッシュフロー計算書を作って現金の流れを常にチェックしている。

中小企業を元気にする。そのため同事務所が提供する商品は、申告書でも事業継承のためのアドバイスでもない。経営計画と月次決算書に集約される。社員も中小企業を元気にするという使命感を持っているから、仕事に誇りを持っており、自社のサービスが最も優れていると誠意を持って提案する。だから新規開拓営業を行わなくても、年間100件を超える新規顧客の紹介を受ける。

古田土所長は印刷業界でも同じと説く。お客様を元気にする、そのためにはサービスに絞り、顧客のために良い商品やサービスを提供しているという誇りを社員に持たせる必要がある。見た目も大切だ。「最初は見た目だけでもよい。そのための笑顔やあいさつを常日頃おこなうこと、そういった努力が意外に行われていないのではないか」と提言している。

技術委員会協賛の技術セミナーを開催

関西フォーム印刷工業会(中川博志会長)は7月3日に大阪堂島ホテルにおいて技術委員会の協賛により、技術セミナー「BF業界が直面する変化と技術対応」を開催した。

当初セミナーの募集予定は80名としていたが、予定を大きく上回る108名が参加された。

冒頭の挨拶で主催者の中川会長は、「このような技術セミナーは関西として初めての企画であったが多くの会員が参加下さいました。低迷する関西圏の経済状況ではあるが、中小企業であるからこそ技術的取り組みについて先行していく必要を感じている。今日のセミナー内容が皆様にとって少しでもお役に立つことを願っている」と挨拶された。

第一部は東京で開催した合同セミナー内容と同じく、サカタインクス(株)と、インフォプリント・ソリューションズ・ジャパン(株)からのご講演を

頂き、第二部はデジタルプリントを中心とした「技術課題と対応」について、日本フォーム工連技術委員会の池澤茂副委員長、渡辺弘委員、中小路正弘委員と山口専務理事が参加してパネルディスカッションを実施した。

アンケート結果よりパネルディスカッションが非常に好評で、地方の地場で仕事されている会員に対して、様々な情報をより多く提供することが必要であることを強く感じた。

セミナーの最後に丹羽喜一技術委員長が登壇し、「このようなセミナーの良さは、部門を越えて営業、製造、管理部門の方々がお集まり頂き、海外の情報や新しい技術情報などを聞けることにあります。お客さまに対して、私たちの様々な取り組み内容や、製品の価値について、もっと解りやすく説明する努力をして行きたい」と挨拶された。

“Chance” (CO2 削減への機会)

Blue Wave システム (低電力型紫外線照射装置)

ホスパーランプ

OMT ランプ



- 1、現在のインキをそのまま使用出来ます。
- 2、電力削減によりCO2削減が可能となります。
- 3、用紙に負荷される熱の抑制が可能です。
- 4、熱及び電力軽減効果に因る周辺温度過冷却が不要となります。
- 5、寿命が長い：ホスパーランプ：約9,000時間程度、OMTランプ：約3,000時間程度

株式会社東通研 東京都豊島区要町1-29-11 電話03-5917-1160

e-mail: totuken@tkm.att.ne.jp

関東フォーム印刷工業会 平成21年度通常総会を開催

関東フォーム印刷工業会(瀬戸良教会長)は5月21日、ホテル銀座ラフィナートで平成21年度通常総会を開催。

冒頭あいさつに立った瀬戸会長は、「昨年度は会員増強と行事の活性化を進めてきた。企画も充実し成果も確実に表れてきている。今年度も様々な事業を通じて、会員の皆様に工業会の活動を理解していただき、会員の増加と交流が増すように努めていきたい」と抱負を述べた。

引き続き審議に入り、第1号議案「平成20年度事業報告並びに収支決算報告承認の件」、第2号議案「平成21年度事業計画案並びに収支予算案承認の件」を審議し、いずれも満場一致で承認した。



平成21年度業務計画として特に、支部活動を強化し活発化させるために、拡大理事会や研修会を実施するとともに、会員相互の親睦と情報交換の場としての懇親会などを計画している。

東北フォーム印刷工業会

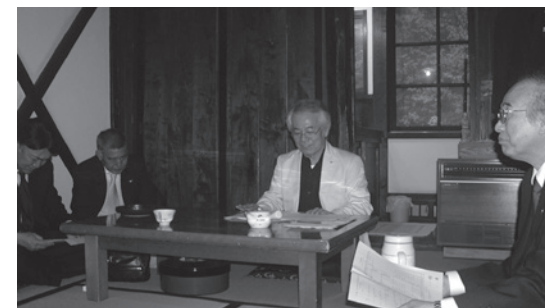
平成21年度定期総会を田沢湖乳頭温泉(秋田)で開催

東北フォーム印刷工業会(笹氣幸緒会長)は、5月22日に秘湯として有名な田沢湖乳頭温泉郷鶴の湯において、会員13社(委任状提出会員4社)が参加され、平成21年度定期総会を開催した。

定期総会では冒頭、笹氣幸緒会長は「フォーム印刷に限らず地方の印刷業者はこれからのオンデマンド印刷とバリアブル印刷を注視する必要があるだろう」と挨拶され審議に入った。平成20年度の事業報告並びに収支決算報告が承認され、つづいて平成21年度の事業報告計画案並びに収支予算案が承認されました。



続いて開催した記念イベントでは、24名の会員が参加され、地元の民話の語り部による「田沢湖に伝わる民話」に耳を傾け、懇親会を開催した。



中部フォーム印刷工業会 平成21年度定期総会と記念講演及び懇親会を開催

中部フォーム印刷工業会（松尾富正会長）は、5月22日にメルパルクNAGOYA・サルビアの間において、平成21年度定期総会を開催した。

定期総会は、梶川理事の司会で進められ、水谷副会長の開会の辞で幕が開き、続いて松尾会長は「我々を取り巻く環境は大変厳しいが、この荒波をいかに乗り切るか、ここが業界の真価を問われるところだと考えている」「厳しい世の中でも、必要性や工夫から新たな分野や製品が生まれつつある。今後も厳しい状況は続くが、日本フォーム工連、中部フォーム工業会として、皆様方に評価していただけるような情報の発信と会員相互の理解が非常に大切だと考えている」と挨拶した。

このあと松尾会長を議長に選任し、平成20年度の事業報告と決算報告及び監査報告、平成21年度事業計画と収支予算を審議し、それぞれ承認された。総会は、福治理事（高橋理事に代わって新たに就任）の閉会の辞で幕を閉じた。

小休止後、野球解説者の佐野慈紀氏を講師に招き、「日米野球を通じて学んだこと～すべては自分次第～」をテーマに約80名以上の会員が参加され盛大に記念講演を開催した。

講演終了後は、カトレアの間会場を移して懇親会が開かれ、こちらではグラス片手に会員の皆さんが積極的に情報交換し、有意義なひとときを過ごした。

西中国フォーム印刷工業会 平成21年度定期総会を開催

西中国フォーム印刷工業会（灘和憲会長）は、5月21日、メルパルク広島において、平成21年度定期総会を開催した。

冒頭あいさつに立った灘会長は、「毎月日本フォーム工連の理事会に出席して、各委員からの報告を受けておりますが、昨年は米国発の金融危機に端を発した世界経済の減速に加えて、円高による輸出の不振も加わり、100年に一度の経済危機と言われる未曾有の不況に陥っています。印刷業界の市場環境も非常に厳しく不透

明感も一層強まっていく状況です。

この様な経済環境ではありますが、会員相互の切磋琢磨と、さらなる人間関係を育むことにより、当工業会の運営と発展に尽く所存でありますので、ご協力をお願い致します」と挨拶された。

引続いて審議に入り、「平成20年度事業報告並びに収支決算報告承認の件」、「平成21年度事業計画案並びに収支予算案承認の件」を審議し、いずれも満場一致で承認した。

関西フォーム印刷工業会 平成21年度定期総会を開催

関西フォーム印刷工業会（中川博志会長）は、5月20日に大阪弥生会館において平成21年度定期総会を開催した。

定期総会では平成20年度の事業報告並びに収支決算報告が承認され、つづいて平成21年度の事業報告計画案並びに収支予算案が承認されました。冒頭、中川会長は「不景気の時代の中、各社

工夫をして、元気に頑張っていきましょう」と挨拶され、「関西が元気になるようなセミナーなどの行事を積極的



にやろう」と宣言されました。

定期総会に引続いて会員約90名が参加して「成功の哲学—型破り僧侶の情熱説法—」と題して、藤井妙法氏が講演された。

成功の哲学、すなわち「人生の成功者になる為の法則」について、先生の溢れんばかりの情

熱が伝わってくる講演でした。

「死ぬ瞬間まで人生を投げない」「プラス思考で生き抜く」「自己の存在価値を持つ」という3つの法則と、それを実践している先生の生き様は、世界的不況によって、つつい後ろ向きになっている我々に大きな勇気を与えられました。

九州フォーム印刷工業会 平成21年度定期総会を開催

九州フォーム印刷工業会（和田秀一朗会長）は5月21日、福岡八仙閣で平成21年度定期総会を開催した。

冒頭あいさつで和田会長は「思うようになりにくい時代・環境こそ、足元を見つめ直せば、意外とそこにヒントやチャンスが転がっているものです。この会のメリットを九州独自の考えで引き出し、生み出し、構築していきましょう！」と抱負を述べた。

引き続き審議に入り、第1号議案「平成20年度事業報告並びに収支決算報告の件」、第2号議

案「平成21年度事業計画案並びに収支予算に関する件」について審議し、いずれも満場一致で承認した。その他事項として支部改編について審議し、現在の3支部から2支部体制へ移行することを決定し、規約の一部改定についても承認された。平成21年度業務計画として、研修会・講演会の開催とともに支部分科会を開催し、会員相互の親睦と情報交換の場をつくり活性化を目指している。

定期総会后、会員の20社から23名が参加して懇親会が開催され、会員相互の懇親を深めた。

紙粉による印刷トラブルを解消!! 特許出願中

KBDペーパークリーナー

もう紙粉のトラブルに悩むことはありません!

特長

- 素材に全く傷を付けず、強制的に素材（紙、フィルム）を超微振動させ、紙粉を強制的に遊離させて、効率よく吸引除去させます。
- 特殊ローラーを使用し、素材（紙、フィルム）に対し粘着したり、擦ることがありません。

紙粉の除去が多様なメリットをもたらします!

1. 白ヌケが全く無くなった
2. 印刷機を止めることがないので…
 - 紙のロスの軽減
 - ブランケット洗浄回数1/3に
 - 刷版の洗浄が不要になった

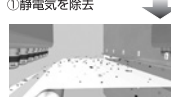
→以上により、**印刷機稼働率が大幅にアップ**

3. その他
 - 紙粉が飛散しないので、工場内の空気がきれいになった
 - メンテナンス不要によりオペレーターの負担が軽減
 - 色合いのチェックや見当ズレ等のみに注意すればよかった
 - 洗浄液使用量が1/3に、またインキに紙粉がまじらないので、インキ廃棄量も削減

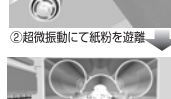
→**枯渇資源の削減につながる**



① 静電気を除去



② 超微振動にて紙粉を遊離



③ チャンバー内部で紙粉を吸引



④ 紙粉は可動ヒタニに集められ、きれいな空気が循環します

KOBUNDO

インキ練りローラー自動洗浄装置

KBDローラーグリーンシステム

インキ洗浄時間の大幅短縮・安全、資源の節約を極める

販売実績記録を
更新中!

インキカラーコントロールシステム

KBDマイクロカラーSL

シール・ラベル小型印刷機専用システム

**タッチパネル方式で
使いやすくなって、
新機能も追加!**

インキカラーコントロールが
グッと身近に。

ニュータイプ登場!!




⑥ 印刷機材の総合商社 **株式会社 光文堂**

http://www.kobundo.co.jp

本店／〒460-0022 名古屋市中区金山二丁目15番18号 TEL 052(331)4111(代)

支社／東京 支店／東北・静岡・大阪・北九州・福岡 営業所／北海道・青森・山形・千葉・山梨・沼津・浜松・豊橋・岐阜・福井・金沢・富山・京都・山口・大分・熊本・沖縄

業務委員会主催・平成21年度第3回講演会 ■「感動を呼ぶサービスの真髄」林田正光氏講演会のご案内

業務委員会(委員長小谷正嘉)では、今年度事業として、企業経営に関する講演会を数回にわたり実施する予定であります。すでに第1回はベストセラー『日本でいちばん大切にしたい会社』の著者・坂本光司氏から企業の社会的責任(CSR)について、第2回は公認会計士の古田土満氏から経営者のビジョンによって、いかに会社が元気になるかについてご講演を賜り、出席者の皆様から大変ご好評をいただいております。

そこで 第3弾として、ベストセラー『リッツ・カールトンで学んだ仕事でいちばん大切なこと』の著者・林田正光氏から、顧客満足度(CS)について、顧客の心をいかに掴むか、ホスピタリティ(おもてなし)の本質とはなにか、ザ・



林田正光氏

リッツ・カールトン大阪の営業統括支配人を務められた林田正光氏に自らの経験を踏まえて、心に響く感動のご講演をいただきます。

日時：平成21年8月27日(木) 16:00より
講演：異業種から学ぶ「感動を呼ぶサービスの真髄」

顧客の心を掴むサービスの本質とは！

講師：林田 正光 氏
元 ザ・リッツ・カールトン大阪
営業統括支配人
株式会社HAYASHIDA-CS総研
代表取締役

会場：東京目白「椿山荘」TOWER 8階コスモス
問合わせ連絡先：日本フォーム印刷工業連合会
事務局

TEL：03-3551-8615

国際委員会 ■北米印刷事情レポート(2009年4月~6月)

●印刷業界の2009年の情勢

業界誌、Print Professionalはフォーム、ラベル、商業印刷及びプロモ製品の分野の2009年の情勢を下記のように分析。

ビジネスフォーム

Print Professionalの2007年統計によると、ビジネスフォームの売上は紙媒体の印刷全体の31%を占め、依然として最大の 카테고리であるが、売上総計および利益率は毎年下降している。

2009年にはこの傾向が更に悪化すると予想されていて、

- ①各フォームのオーダーの数量が4割強減少する。
- ②顧客は在庫保存を最小限化する為、納期が極度に短縮する。
- ③価額競争が増しコストダウンが更に必要となり、労務費の削減が求められる。
- ④運転資金の調達が厳しくなり倒産する会社が増える。
- ⑤従来のビジネスフォームは極度の数量が減

って、コストダウンや効率の改善では会社として存続が難しく、デジタル化や、オンデマンドなどの新しい技術、分野を積極的に取り込まなければならない。

- ⑥ビジネスフォームを発注している企業がコストの削減施策(例：郵便料金の低減)や、顧客の保持施策(例：レスポンスの向上)などを求めているので、業界としてフォームデザインの考案など、新しい提案をする必要がある。

ラベルとタグ

米国顧客のラベル、タグの需要は順調に伸びてきているが、過去数年はその生産が中国や製造コストの安い国に移動していたが、2008年夏の原油高を機に米国国内生産に戻る傾向にある。

品質の改善、サービスの改善、コスト削減、効率の改善などを実施し、製品ラインの多様化をする実施する必要がある。カラーや特色の増強、可変データ印刷、両面印刷、ホットスタンプ、

エンボス、香料インキ、スクラッチ加工、新しい構造を持つラベル等、品種の多様化が求められている。

さらに デジタル印刷による高品質、フルカラー、小中ロット生産、プライベートやパーソナルのラベル製品の需要が増える。生き残り成功する会社は製品の多様化の為に設備投資をしている。

商業印刷

米国の統計では2008年10月に終わった6ヶ月間(上半期)の売上は、前年同期の売上を34%マイナスし、2003年以来の大幅減少であったが、今の経済不況はそれに増して厳しいと予測される。

商業印刷は商品に対する消費者のニーズに大きく左右されるので、消費者の購買力の低下は商業印刷の売上減と非常に近い関係にあり、2008年第四半期以降急激な下降線を辿っている。しかし、このような時期に全面的に受注価格の低減(値引き)を行なうことは取返しのできない状況を作り出すので、極めて限定した範囲に留め、むしろサービスの向上を最優先にすべきである。

印刷商品の多様化のみならず、取引相手の顧客の多様化も必要で欠くことができない。自動車、小売、金融、証券などの業界は軒並み厳しい環境にあるが、ヘルスケア業界の商業印刷の需要は落ち込んでいない。顧客の多様化の為に、生産設備への先行投資もしていくべきである。

プロモ製品

Print Professional誌の姉妹誌であるPromo Marketing誌はプロモ製品のデストリビュータのトップ10社の幹部に下記の質問をして2009年の情勢判断をしている。

成功の秘訣は、顧客へのサービスの向上、ソリューションの提供、顧客のニーズの把握と対応、顧客の満足のいくスピード、品質、値段、多様な製品と回答。今後のプロモ製品は、強気で見る会社と、悲観的な見方をする会社、その他、グローバル化の必要性、プロモ製品のパーソナル化、グリーン化などを推進し、将来の市場開拓を積極的に進めるべきとする会社など様々である。

ビジネスフォーム印刷用 BST自動見当装置システム

プロセスカラーの見当合わせ時間の短縮に最適！

■採用のメリット！！

- ・各オーダ及びオーダプロフィールのデータ管理！
- ・ロット量にかかわらず始かり時間の大幅短縮！
- ・オペレータの技量を選ばないシステム！
- ・手動操作に対して大幅な損紙の軽減！
- ・印刷スピードの大幅アップ！
- ・大幅な損紙の軽減



BSTビーエスティ日本株式会社

東京営業所 〒108-0074 東京都港区高輪3-25-27 アベニュー高輪411号室
本社 〒562-0035 大阪府箕面市船場東1-10-9 箕面プレーベルビル3階
大阪工場 〒594-0062 大阪府和泉市寺田町3-1-27

TEL：03-5798-7805 FAX：03-5798-7806
TEL：072-727-4704 FAX：072-727-4914
TEL：0725-44-9930 FAX：0725-44-9931



21世紀の情報記録を
サポートします。

三菱情報記録用紙

三菱 **NCR紙** 三菱 **IJフォーム用紙** 三菱 **DFカラーM・G**
三菱 **ダイヤフォーム** 三菱 **ダイヤメールシリーズ** 三菱 **OCR用紙** 三菱 **感熱紙**

三菱製紙株式会社

洋紙事業部 情報・特殊紙営業部 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目4番2号 ☎03(3213)3732
大阪営業所 情報用紙グループ 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町1丁目3番9号 ☎06(6271)4455

三菱製紙販売株式会社

本 店 〒104-0031 東京都中央区京橋2-6-4 ☎03(3566)2341
大 阪 支 店 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町1-3-9 ☎06(6271)2271
名古屋支店 〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-16-22 名古屋ダイヤビル ☎052(563)7561
東北支店 〒983-0045 仙台市宮城野一丁目11番1号ダイヤミックビル ☎022(295)7710
九州支店 〒810-0001 福岡市中央区天神1-15-6 綾杉ビル ☎092(771)1531

NPiフォーム **NEXT-IJ**



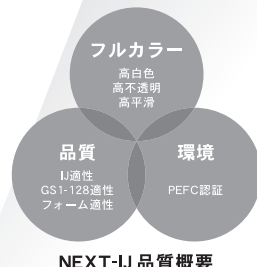
次世代を担うフルカラーインクジェットフォーム

近年、DPS 事業におけるインクジェット印刷の高速かつフルカラー化は目を見張るものがあります。
当社は高白色、高不透明、高平滑でご好評いただいております「NPiフォーム NEXT」をベースに高性能
インクジェット適性(耐水性、高発色性)を付与し、新たにラインアップいたしました。

NPiフォーム NEXT-IJ 規格表

米坪(g/m ²)	64.0	81.4	104.7	127.9	157.0
連量(kg)	55	70	90	110	135

※尚、本製品は受注生産となります。



日本製紙株式会社 情報・産業用紙営業本部 情報用紙一部

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-2-2 Tel. (03) 6665-1042

Economy & Ecology
エコノミー & エコロジー

New

Truepress Jet520

フルカラーバリアブル
インクジェットプリンティングシステム

エントリーモデル

導入コストを抑えた待望の シリーズ機登場！！

＜特長＞

- ◆ Truepress Jet520の品質機能を継承
- ◆ 高付加価値創出
- ◆ Eco設計による環境対応
- ◆ 業務内容に応じた前後処理装置の選択(OP)
- ◆ 全数・全面ビットマップ検査による品質保証(OP)
- ◆ 業務量に応じてバージョンアップ(OP)



●ダイレクトメール
圧着はがき(先糊、後ス対応) etc...



●帳票関係
OCRドロップアウトカラー
薄紙ノンカーボン用紙
保険証券・約款 etc...

●パーソナル出版・小ロット印刷
パーソナルカタログ・自費出版
新聞・フリーペーパー etc...



株式会社 メディアテクノロジー ジャパン

〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル
VP営業統轄部 VP営業部
TEL03(3237)3116 FAX03(3237)3203
ホームページ <http://www.mtjn.co.jp/>

大日本スクリーン製造株式会社

メディア&プレジジョンテクノロジーカンパニー
〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目
ホームページ <http://www.screen.co.jp/>